

自ら会破壊の危機に陥る 自治委員83名より全學友に訴える

(7日現在)

阪大
**反戦会議系一部学生の
自治会破壊を彈劾し
自治会を全學生の力で
守りぬこう！**

《事実経過》

- ① 10月15日、朝、「自治委員会」と書いたポスターが、反戦会議系一部学生によって貼られる。(自治委員会招集は執行委員長がこれにあたると想定20条に記載されている。)
- ② 午前10時15分、西崎へ(2-3)が執行委員長に20名の署名が集まから、12時30分に自治委員会を開催せよと要求。(20名署名者はつきり提示せず)

- ③ これに対し、自治会執行委員会が「試験中であり、時間の関係から否、でも、全自治委員会に対して、責任ある自治委員会を提供することは不可能である。」由の口音、ボスターを提出しておき、反戦会議系一部学生が暴力的に破壊する。

- ④ 12時30分より、ミッテ上代・自治委員会、ミッテ反戦会議系一部学生は、田中市議の

參加とともに、自治委員会ミッテ上代、現執行委員の「リコール」を行ない、オニ田中市議

干あげの運動を行い、自治会破壊に狂喜した事は明らかである。ミッテにネライをもてばこそ試験期間中、しかも、わずか2時間程前に崩壊を要す、「執行委員長が招集する」という規約20条違反もあえて辟易と爲されたのである。(かくも昨日の「田中市議」の意義を認め一事が唯一の参加である条件であるとし、暴力をふるった事は自治会破壊の意図とはさり示したのみに他ならぬ。

《全學生の力で自治会破壊活動から自治会を守りうつ》

事態はさわめの急である。すぐに17日夜には、反戦会議系の学生が、自治会室の鎖を二わし、自治会室を占拠するという暴挙に出でている。今我々は、このような、反戦会議系学生の自治会破壊活動と断固封撃することに、全學生に対し、我々自治委員の連名でこそ自治会をあくまで大衆的正例的母規律ある実現と、共に守りぬいてゆく事を叫び、かけろ。

裏につづく、